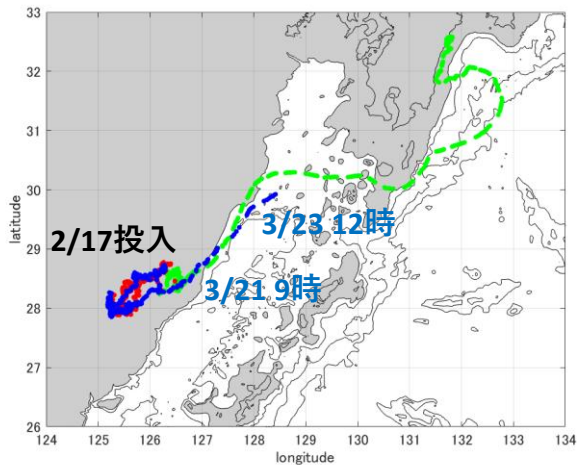


漂流ブイ観測速報(14)

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

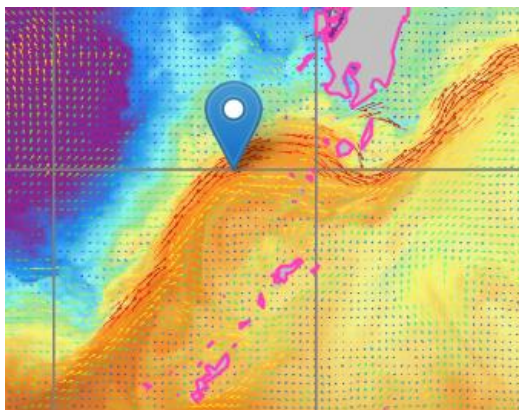
2023年3月23日



漂流経路図:

3個のペットボトル型ブイの漂流軌跡(3月23日12時現在).

注意:漂流ブイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(3月23日12時):

図中のマークは23日現在の緑色●の漂流ブイの位置を示す。矢印は海面の流速と流向を示す。

提供:海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

データ表:ブイ投入から3/23 12時までのブイの位置情報. 時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)		
日本時間3月23日12時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 2:11	126.48	28.46
2023/3/7 2:53	125.66	27.97
2023/3/20 0:04	125.77	28.44
2023/3/23 3:00	126.34	28.75

鹿大水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型ブイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。

解説:現在、1個のブイ(青色)が、奄美大島西方で黒潮縁辺の強流帯に取り込まれ、トカラ海峡へ向けて移動しています。このブイは、先行して漂流した緑色ブイと似た経路をたどっています。緑色ブイの漂流履歴を参考にすると、青色ブイは約2日後の3月25日昼頃に屋久島南西海域に到達すると予想されます(流れ藻集団の規模は不明)。

人工衛星の海面水温画像から判断すると、青色ブイは大陸棚縁辺部で、比較的規模の大きな黒潮前線波動に伴う低気圧性渦(反時計回り渦)によって黒潮に取り込まれたと考えられます。今後、**赤色ブイ**も青色ブイ同様に、この手気圧性渦によって黒潮に取り込まれてトカラ海峡を通過する可能性があります。

青色ブイについては、海況予報モデル(DREAMS_E)による38時間先の漂流予報は行いません。

ID:227201 (●)		
日本時間3月23日12時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 1:31	126.16	28.33
2023/3/7 2:52	125.29	27.98
2023/3/20 0:06	126.79	28.52
2023/3/23 3:06	128.44	29.93

ID:227202 (●)		
日本時間3月23日12時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 8:07	126.18	28.24
2023/3/2 2:56	127.29	28.86
2023/3/7 2:58	130.05	30.24
2023/3/20 0:03	131.80	32.53
2023/3/23 3:00	131.73	32.48